



葛 城 市

令和 7 年 5 月 8 日

報道機関各位

教育部 生涯学習課 歴史博物館
(葛城市歴史博物館)

春季企画展の開催について

令和7年度春季企画展について、下記のとおり開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 名称：春季企画展「水が育んだ葛城の歴史 ー近世の絵図から探るー」
2. 会期：令和7年5月10日（土曜日）～ 7月6日（日曜日）
3. 場所：葛城市歴史博物館 特別展示室

〔お問い合わせ先〕

〒639-2123

奈良県葛城市忍海 250 番地 1

教育部 生涯学習課 歴史博物館

担当 ：川瀬

電話 ：0745-64-1414

FAX ：0745-62-1661

e-mail : rekishi@city.katsuragi.lg.jp

春季企画展

水

が

はぐく
育んだ
葛城の歴史

近世の絵図から探る

2025 年

5 / 10 (土) ▶ 7 / 6 (日)

休 館 日：毎週火曜日、第2・4水曜日
開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入 館 料： 一 般 200 円 (160 円)
高校・大学生 100 円 (80 円)
小・中学生 50 円 (40 円)

※ () 内は 20 名以上の団体料金



葛城市歴史博物館

Katsuragi City Museum of History

〒639-2123 奈良県葛城市忍海 250 番地 1 TEL : 0745 (64) 1414

◆ 写真：春の兄川筋（御所市小林から西を望む）絵図：兄川筋水利絵図（林堂土地改良区蔵）

はぐく 水が育んだ葛城の歴史

—近世の絵図から探る—

水は、いつの時代も人が生きていくうえで欠かせません。二上・葛城山麓地域は、山を水源とした清流をはじめ、地域を流れる川の水とともに豊かな歴史を紡いできました。

「大和豊年米食わず^{やまとほうねん}」という言葉があります。奈良盆地で穀物がよく実った年は、他の地域では雨が多く凶作であるという意味のことわざです。普段の奈良盆地は雨が少なく、慢性的な水不足にあったことがうかがえます。二上・葛城山麓地域も同様に、河川を流れる水の量は限られており、昔から水の確保に大変苦労してきました。そのようななか、人びとは様ざまな工夫をしながら水を分けあって利用してきました。その工夫の一端を、近世の絵図などから読み解いていきます。あわせて、絵図に描かれた河川やため池の様子から、水とともにある当時の地域の風景を想像し、感じていただきたいと思います。

今回は、二上・葛城山麓地域における水と人びとの歴史を、水や稲作にかかわる信仰が始まった古代、地域の様子を伝える絵図が描かれた近世、清流が育んだ酒造りなどの産業が営まれた近代と、それぞれの時代を特徴づけるテーマに着目しながら紹介していきます。最も身近にあって、生きていく上で欠かせない水にまつわる歴史をとおして、あらためて地域に根付いた自然の恵みを最大限に活かしてきた人びとの創意工夫に思いをはせる機会にしたいと思います。



兄川と笛吹神社 兄川筋水利絵図より（個人蔵）

企画展記念講演会

（いずれも午後2時から）

◆5月24日（土）

「絵図にみる水と地域の風景」

講 師：川瀬理央（当館 学芸員）

◆6月7日（土）

「古代の人びとと水との関わり」

講 師：神庭 滋（当館 館長）

◆6月21日（土）

「兄川筋水利絵図」からみた
近世の村落関係」

講 師：土平 博氏（奈良大学文学部地理学科 教授）

◆7月5日（土）

「大池と傘堂、そして初田川
—二上山からの水の恵み—」

講 師：仲川道興（葛城市教育委員会）

会 場：歴史博物館2階「あかねホール」

定 員：200名 事前申込が必要です。

入 場：無料

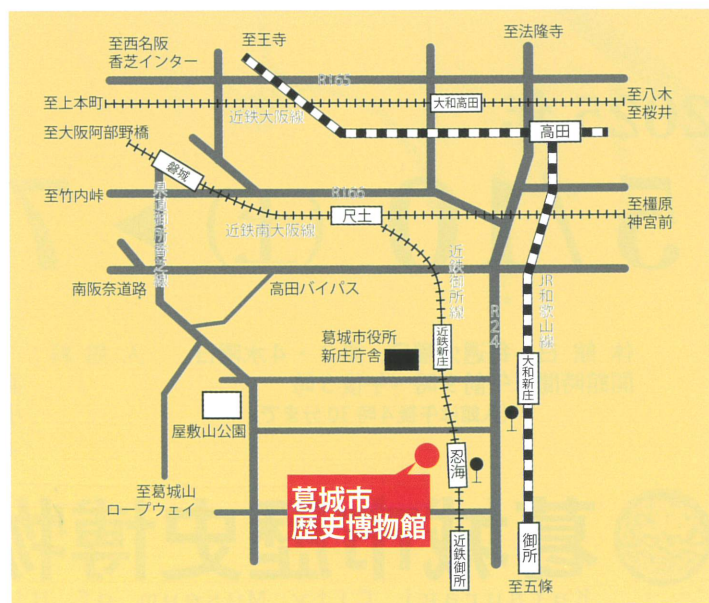
申込先：葛城市歴史博物館 電話：0745（64）1414

○メール、ホームページからの申込も可能です。



おもな展示資料

笛吹明神能仕候高書覚（葛木坐火雷神社蔵）、大屋村絵図（本館蔵）、萱村絵図（本館蔵）、兄川筋水利絵図（忍海区域蔵、林堂土地改良区蔵、個人蔵）、梅室村荒場絵図（御所市教育委員会蔵） など



【交通】近鉄御所線「忍海（おしみ）駅」下車すぐ